

令和2年度群馬県高等学校体育大会バスケットボール競技大会（代替大会）  
兼令和2年度第73回全国高等学校バスケットボール選手権大会県一次予選会（大会要項）

- 1 主 旨 本大会は、令和2年度全国高等学校総合体育大会及び群馬県高等学校総合体育大会の代替大会として開催する。
- 2 主 催 群馬県高等学校体育連盟 群馬県教育委員会 群馬県バスケットボール協会
- 3 主 管 群馬県高体連バスケットボール競技専門部
- 4 期 日 令和2年9月19日（土）・20日（日）・26日（土）・27日（日）
- 5 会 場 県内各高等学校体育館
- 6 新型コロナウイルス対策 本連盟作成の「新型コロナウイルス感染症に係る群馬県高体連主催大会等実施ガイドライン」に沿った対策を講じるとともに、細部については、各競技団体作成のガイドラインや群馬県作成の「新型コロナウイルス感染症に係る県主催イベント等開催ガイドライン」に準じた万全の対策を講じること。
- 7 参加資格 (1) 選手は、前回大会の男女ベスト8を除いた学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。  
(2) 本連盟バスケットボール競技専門部に登録を完了し、且つ、日本バスケットボール協会に有効に登録を完了しているもの。  
(3) 年齢は平成13年4月2日を起算とする。ただし、同一学年での出場は一回限りとする。但し、中国からの帰国者およびその子女は年齢制限はない。  
(4) チームの編成は、全日制課程、定時制課程、通信制課程等の生徒による混成は認められない。転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。ただし、一家転住の場合は特例として参加を認める。また、外国人留学生のエントリーは2名以内とし、コート内でプレーできる選手は1名とする。  
(5) 参加選手は、日常的に健康状態を確認し、当日は【健康状態申告書】を提出すること。
- 8 参加制限 1校、男・女各1チームとする。チームはコーチ1，アシスタントコーチ1，マネージャー1，選手18名以内とする。コーチ・引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。（但し、公立学校にあつては教員とする。）また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届け出ること。アシスタントコーチは校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とし、高体連バスケットボール競技専門部に有効登録してある者とする。マネージャーは当該校の教職員または生徒であること。
- 9 競技方法 トーナメント方式とし、日本バスケットボール協会競技規則（2020～）による。この大会の男女上位8チームに二次予選会への出場権を与える。
- 10 組 合 せ 県高体連バスケットボール競技専門部組合せ委員会で責任抽選をおこない、決定後ホームページにて連絡する。組合せ会議は7月8日（水）
- 11 参 加 料 無料
- 12 大会中止条件 (1) 本連盟作成の「新型コロナウイルス感染症に係る群馬県高体連主催大会等実施ガイドライン」の「2. 県高体連主催大会再開に当たっての基本的考え方」に示されている開催条件が整わない場合  
(2) 県内の感染状況に鑑みて、安全が確保できないと判断した場合  
(3) その他、群馬県教育委員会又は群馬県高等学校体育連盟より大会の中止指示等があった場合
- 13 そ の 他 ① 無観客試合とする。（専門部が許可する場合のみ3年生の保護者の観戦を認める）  
② 無断で棄権した場合は次の大会の出場を停止する。  
③ 選手は体育館外での練習は必ず外用アップシューズでおこなうこと。なお、ゲーム用シューズでは絶対に外に出ないこと。  
④ 準備は会場校と第1試合チーム、後片付けは会場校と最終試合チーム。  
⑤ オフィシャルは各会場とも、第1試合は第2試合目のチームが行なう。以下、負けチームがオフィシャルを行ない、勝ちチームを得点係とする。  
⑥ ベンチは若番チームがオフィシャル席に向かって右側、ユニフォームは白とする。以降は各チームの話し合いで決めることができる。  
⑦ 『盗難に十分注意』し、貴重品は各校で責任を持つこと。  
⑧ ボールは各校持ち寄りで使用する。校名を記入のこと。  
\* 今後の新型コロナウイルス感染症の状況によって要項の変更や大会の中止・延期がある。